

調査等事項報告 (団体名: 改革クラブ)

視察先	山形市役所 環境部環境課及び商工観光部雇用創出課
視察日時	平成 29 年 11 月 20 日 (月) 10 時～11 時半まで
視察項目	カラス対策事業について
視察者	改革クラブ (菊池大二郎、菊池貞好、結城正、犬飼司)
内 容	<p>1 環境課によるカラス対策事業</p> <p>近年、市街地における集団化するカラスによるフンや鳴き声等の生活環境被害が増加していることから、捕獲による個体数調整と追い払いを二つの柱としている。</p> <p>(1) 個体数調整について</p> <p>捕獲目標を生息数の約 4,000 羽の 1 割として、繁殖期を終えた 11 月から翌 3 月までに霞城公園及び上野最終処分場に箱わなを設置。全国的に捕獲が難しいとされるなか、平成 27 年度は 111 羽、平成 28 年度は 206 羽と着実に捕獲数を伸ばしている。</p> <p>(2) 追い払いについて</p> <p>①レーザーポインターによる追い払い</p> <p>平成 27 年度から市で購入したレーザーポインターを市民に貸し出し、自主的な追い払いに活用。飲食店組合や町内会単位で定期的な照射を実施。30 分程度の照射を 3 日間実施することで約 1 ヶ月の追い払いの効果がある。</p> <p>②猛禽類による追い払いの実証実験</p> <p>天敵がない市街地で夜を過ごすため、天敵であるハリスホーク等の猛禽類による追い払いを平成 28 年度から実施。依頼した福島県の鷹匠によって、夜間のなわばりとされる山形市役所や市立済生病院周辺のビル間にて猛禽類を飛来させる。3 日間の実施でも約 3～4 ヶ月の追い払いに成功。</p> <p>2 商工観光部雇用創出課によるドローン活用検討事業</p> <p>仙台市、山形市連携の協定に基づくビジネス分野における連携事業の一つとして、ドローンを活用した新事業の創出等を検討。具体的な取り組みとして、カラス対策への有効性を検証するため、研究者による技術協力を得て実証実験を行っている。</p> <p>(1) カラスドローンプロジェクトチームの設置</p> <p>庁内関係課の若手職員でプロジェクトチーム (8 名) を組織。</p> <p>(2) 広域音声システム及びドローンによる追い払い実験</p> <p>前者については、天敵 (オオタカ) >天敵との争い>ねぐら入りの順でカラスの鳴き声を流し、世界初のカラスの誘導に成功。後者については、ドローンに搭載したスピーカーから天敵と争うときの鳴き声を流し、カラスの集団に接近させ反応を確認 (なわばりへの異物侵入に一時的にその場を離れるに過ぎず、長期間追い払うにはドローンの見た目を実物 (オオタカやカラス) に近づける等の更なる対策が必要)。</p>